

農林水産省登録第22152号

殺菌剤

“京都微研”

キュービオZY-02

ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒性水溶剤

製造販売元

株式会社 微生物化学研究所

京都府宇治市槇島町24、16番地

[有効成分]

ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株2002

凍結乾燥前バルク容量で溶解した希釈液0.3mL中

ウイルス含有量 $10^{3.3}$ ID₅₀以上

[その他の成分]

安定剤

[物理的・化学的性状]

淡黄緑色及び淡緑色の

水溶性円盤状結晶塊

[内容量]

バルク6mL分の

凍結乾燥物

[保管] 2～5℃

■ラベルをよく読む。記載以外には使用しない。

■小児の手の届く所には置かない。

■初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

効果・薬害等の注意

- ・本剤の希釈は使用直前に行い、完全に溶解させて使用すること。
- ・本剤の希釈には蒸留水又は井水又は煮沸後室温まで冷やした水道水を用いること。
- ・希釈液の作り方は水30mLで内容物を溶解し、さらに120mLを加えて希釈液とする。
- ・希釈後は速やかに使用すること。また、効力が低下する恐れがあるため希釈後の保存はしないこと。
- ・本剤1瓶当りの接種株数は500株がめやすとなる(1株当たりの接種量は約0.3mLである)。カーボランダムは7.5gが添付されている。
- ・本剤を、接ぎ木前の穂木に使用する場合には完全に展開した子葉に、接ぎ木苗に使用する場合には完全に展開した第1本葉に接種すること。
- ・接種に用いる綿棒は未使用の清潔なものを使用し、苗毎に交換すること。
- ・接種後は、必ず接種葉に散水すること。
- ・本剤接種により生育期間中に一過性の軽微な退緑斑を生じることがある。
- ・本剤はズッキーニ黄斑モザイクウイルス感染によるモザイク症及び萎凋症の予防に効果があるが、他のウイルス感染による類似の病害の予防には効果は示さない。
- ・接種作業中は他の作物と接触しないこと。
- ・接種後に残った薬液及び容器は5分間煮沸して廃棄すること。
- ・本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

- ・本剤は弱毒ウイルスを凍結乾燥した製剤で、容器内は真空になっており、破裂の危険性があるので、強い衝撃を与えないこと。
- ・急激な空気の流入により製剤が噴出することがあるので、本剤の開栓はできるだけゆっくり行うこと。また、アルミキャップで指などを傷付けないよう気をつけること。
- ・使用の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用すること。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ・作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ・かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けること。
- ・夏期高温時の使用を避けること。

貯蔵上の注意

- ・直射日光を避け、食品と区別して、2～5℃で保管すること。
- ・容器が破損するので凍結しないこと。

[適用病害虫の範囲及び使用方法]

作物名	適用病害虫	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
きゆうり	モウズ	完又穂	1回	本剤の入っている容器に水を加え5倍希釈液とし、固形物を完全に溶解した後、広口の容器に全量を移し、最終的に25倍希釈液とする。この希釈液に添付のカーボランダムを加えてよく混ぜながら綿棒などを使って展開した一対の子葉又は第1本葉の全面に有傷接種する。
	ザイツ	全は木		
	イルキ	展接の		
	クス	開木子		
	症の	二期苗葉		
	及感	の完		
	び染	第全		
	萎に	1展		
	凋よ	本開		
	症る	葉期		

[アルミキャップの開け方]

プラスチック部分を矢印の方向に親指で押し上げてアルミ部分を剥ぎ取る。



製造場 株式会社 微生物化学研究所 京都府宇治市槇島町24、16番地